

地域資源を活用した良質堆肥生産及び自給飼料生産の取組

(石川県：西出牧場)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○		○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：石川県鳳珠郡能登町
- 代表者：西出宏
- 飼養頭数：総頭数44頭（経産牛27頭）
- 飼料作物作付面積：24ha
イタリアンライグラス12ha（2回収穫）
グリーンミレット12ha
- 雇用者：なし（家族経営）（R4.2時点）



西出牧場の草地

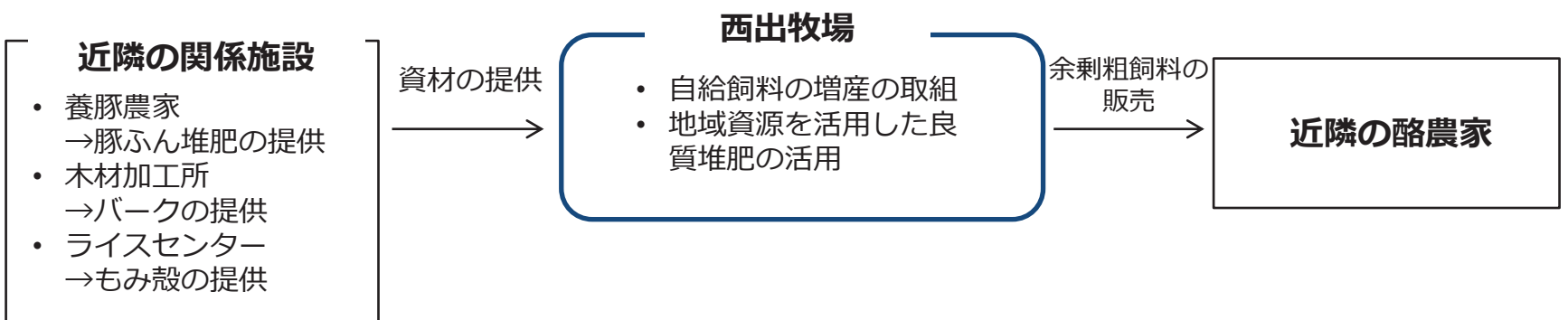
<取組について>

○ 概要

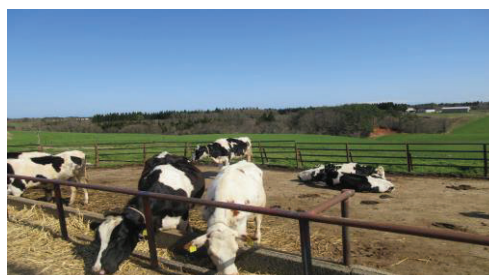
- 西出牧場は草地酪農へ転換のため、昭和53年に広大な草地を確保できる能登町に牛舎を移転。
- 自給飼料生産に主眼を置き、混播での永年牧草の作付け及びその多回収穫、スーダングラスの作付けなど様々な試行錯誤を行い、現在の秋播きイタリアンライグラスの2回収穫と夏作でのグリーンミレットの作付け体系とした。
- 自給飼料の生産にあたっては化成肥料の低減を目指し、近隣の養豚農家から豚ふん堆肥を年間約200t、木材加工所からバークを年間100t、ライスセンターからもみ殻を年間15t入手し、良質堆肥の生産に取り組む。

○ 成果

- 取組により、傾斜地にも関わらず年間約600個のロールサイレージを調製し、そのうち約550個を自農場での飼養牛に給与し、余剰分は近隣の酪農家に販売し地域における飼料自給率の向上に努めた。
- 良質堆肥の活用により、化成肥料を使用しない有機栽培の体系とした。



良質堆肥の散布



草地及び飼養牛



自給飼料の収穫